

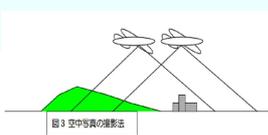
地域のもりから学ぶ森林づくり 2015

「森林の生物多様性を学ぶ」第2回森林教室

定山溪の森を学ぼう

第2回森林教室は、6月3日(水)に定山溪小学校の5年生、6年生を対象として実施しました。

今回は、身近な定山溪の森を学ぶことを目的として、「空の上から定山溪を見てみよう」と「定山溪の森づくりをしよう」をテーマに実施しました。



空の上から定山溪をみてみよう

地図には、様々なものがありますが、山の様子を表している地図は、森林管理局が作成している「森林計画図」と「基本図」です。

この地図は、山の中の地形や道路、森林の種類などが判ります。でも、細やかな山の形状や樹木の大きさ等は、判りません。

そこで、詳細を知るために「空中写真」をみて調べます。

空中写真を「ある特殊な機器」で覗いてみると、建物や身近な定山溪の森林の樹木などが立体に浮き上がって見えてきます。ある特殊な機器とは、「実体鏡」です。

実体鏡で山の形状や樹木を観察してみましよう。

定山溪小学校の皆さんは、教室に入ったときから空中写真や実体鏡をみて興味津々、

森林教室が始まる前から、のぞき込んでいる生徒も・・・

立体視の方法を説明し、空中写真をずらしながら微調整して森林の中を観察していくと、全てのものが浮き上がってきます、みんな楽しそうでした。

ちょっと、感動・・・

ここで、小休止

休憩している間にみんなに質問、

世界で一番、軽い木と重い木、知ってますか？

森林総合研究所北海道支所から借りてきた、世界一軽い木と重い木を持ってきて、

またまた、感動・・・



定山溪の森づくりをしよう

定山溪の森林の様子が見えてきたところで、次に、森林の中で樹木が少ないところには、人工的に木を植える必要があります。

そこで、みんなで植える木を作ってみましょう。

今回は、カミネッコンを使ってポット苗木を作り定山溪の森林に植えることにしました。

まず始めに、教室の中でポット苗木の土台ともなるカミネッコンの組み立てを行いました。

みんな、カミネッコンを組み立てるのは初めてなので、真剣なまなざし・・・



組み立て方の説明を聞きながらカミネッコンを組み立てていきます、みんなに遅れを取らないように組み立てていきます。

カミネッコンが作製できたら、みんな、思い々のメッセージイラストを描き、思いを込めました。

土台となるカミネッコンが完成したら、次は、外に出て苗木をカミネッコンに入れます。

今回の樹種は、以前、定山溪から採取してきた「ミズナラ」の苗木を植えることにしました。

みんな、「ミズナラの木」知ってますか？

ドングリの木です。この木が大きくなるとドングリが実ります。リスの大好物の木です。

カミネッコンにミズナラの苗木を入れて完成です。

最後にみんなで記念写真を撮り森林教室は終了しました。カミネッコンは、定山溪小学校で約1ヶ月ほど養生をして定山溪の森林に戻します。

空中写真を見たり、カミネッコンを作製したり、みんな初めての体験で楽しそうでした。



今後の日程

○7月22日(水)

第3回森林教室

森を知り、森を育む

○9月14日(月)

第4回森林教室

緑化活動、自然観察など

定山溪の街の周辺には、自然であふれています。たくさんの動物や昆虫、植物、樹木があります、森林の中を観察してみると新たな発見があるかもしれません。

次は、森林の中に入ってみましょう？